
桜色の夢を話そう

武田美空

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桜色の夢を話そう

【Nコード】

N2650C

【作者名】

武田美空

【あらすじ】

大人と子供の間で揺れる、微妙な年頃。朝のふとした時にちらりとよぎる将来への不安。子供だって色々悩んでいるのです。

学校までの15分はなかなか貴重な時間だったりする。

足は全力でペダルをこいで、乱れる息がその激しさを物語る。

風は挨拶を交わすより先に通り過ぎ、数秒が経過する間に私は数十メートル先にワープしている。

朝のひんやりした空気の中を、ひたすら急いで駆け抜けるのだ。春がやってきた。

通学路には桜並木が続いており、私が通り過ぎる気配に枝が揺れる。先端に花を咲かせ、

朝露に濡れた緑の中で桃色が際立っていた。いつの間にやらそんな季節がやってきていたのだ、とせわしくなく迎える毎日を振り返る。やはり思い出せなかった。

新しい季節を迎えて、自分は以前と比べてどうなっているのか、ふと疑問に思う。

顔つきは変わっただろうか。雰囲気は大人びただろうか。少しは前向きに現実を受け止められるようになったらうか。季節だけがめくるめく変わり、自分だけは永久に変化しないまま成長など迎えないのかもしれない。蕾のまま、咲かすことなく枯れてしまいかもしいない。

ひらりと鼻先をかすめた花卉に、漠然とした不安を感じた。

大人になるって難しい。

大人になるって辛い。

子供でいるのも面倒くさい。

子供扱いは悲しくなる。

変わり行くのを待ちわびながら、どこかで過ぎ行く時間を恨む。
また桜が咲くころには、私は大人の顔つきで未来を見据えている
のだろうか。

ほんやりと浮かぶ未来予想図に、身震いするほどの恐れを感じた。
なぜなのだろうか。

つんと痛んだ鼻の奥が、今この瞬間、確かに現実なのだ教えて
くれる。子供でいられるあとわずかの時間を、私はどうやって未来
と戦いながら過ごせば良いのか。

どんどんと変わって行くあらゆる世界を、私は私のみままで迎えら
れるのだろうか。

ふと思う。

いつか私がすっかりとした意志を持てるようになって、少しは引
き締まった顔つきになって、『子供』の時間にピリオドを打った時、
変わらず胸の奥に今の『私』の居場所があればいいと。

辛くなった時に少しだけ勇気をくれる存在でありたい。未来の私
にとって支えになれる私でありたい。

だから今は子供でもいいのかもしれない。しかし早く大人になり
たい。

結局、大人になりたいと願うのは子供の証拠なのだと思う。

風に揺れる桜の枝々が春を告げる。夢見て朝を迎えるこの時は、
確かに現実なのだ。

少しだけしんみりと思索する。

きっかり15分で私は一歩踏み出した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2650c/>

桜色の夢を話そう

2010年10月30日05時27分発行